



# マイクロプリボロフ研究室

このウェブサイトのメール送信フォームから、Mikropriborov Laboratory社にメールを送ることができます。





# マイクロプリボロフ 研究室

このウェブサイトのメール送信フォームから、Mikropriborov Laboratory社にメールを送ることができます。

同社の主な活動は、微小電気機械システムをベースとした慣性センサーの開発に焦点を当てています。同社は、アナログおよびデジタル回路ソリューションの開発、トポロジの設計、集積回路の受託生産のための注文の形成、電子部品ベースの国内要素の開発：センシング要素、それをベースにした製品、慣性および測定モジュール、圧力センサーおよび衝撃センサー。

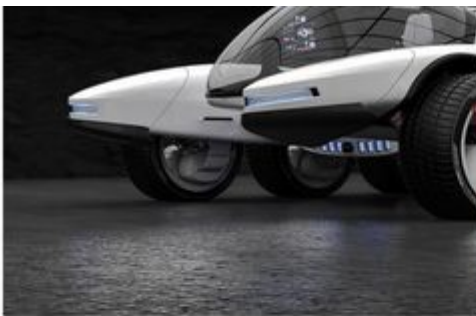
## 会社の歴史

マイクロプリボロフ研究所は、電子技術国立研究大学の卒業生の若いチームによって2012年に設立され、微小電気機械システムをベースにしたジャイロスコープの最初のサンプルを受け取ったときに設立されました。すでに2013年には角速度センサの量産が開始され、2014年には完全に国内の素子ベースで作られたロシア初の微小電気機械システム加速度センサがリリースされました。2015年には、Mikropriborov研究所のチームは慣性モジュールGKV-10を開発し、これは2019年に最初の慣性測定装置（Rosstandartに登録）となりました。2016年には、経済開発省の専門家会議は、Mikropriborov研究所をゼレノグラード市の技術革新型経済特区に含めることを肯定的に決定しました。2017年には、GOST R ISO 9001-2015の要求事項に準拠した品質管理システムを導入し、毎年確認しています。科学技術分野の小規模革新企業支援財団は、マイクロプリボロフ研究所の革新的なプロジェクトを2回支援しています。2018年には、慣性航法システムGKV-11を開発する枠組みの中で研究開発が行われ、2019年から2021年にかけては、得られた成果の商業化、革新的な製品の自社生産と販売量の拡大に関するプロジェクトが実施されています。同社は、プリント基板の生産、シリコン生産の断片、マイクロエレクトロニクス部品のインストールのための最も近代的で高精度な機器、広く使用されているZelenogradの技術力で個々の技術操作を行うために製造委託のサービスを使用しています。2020年以降、Mikropriborov研究所は、実験室や試験

装置のインストールのための生産設備を積極的に増加させ、独自のシリコン生産を開発しています。

## 製品情報

同社の製品は、慣性技術の民間および特殊用途の市場に焦点を当てています。製品の特殊性は、幅広い消費の予算システムと光ファイバー、レーザー、その他のジャイロスコープをベースとした非常に高価な高精度システムの接合部でニッチを占めており、良い価格と品質比で競争力のある魅力的な製品を形成していることです。Mikropriborov研究所は、慣性モジュールを製造するだけでなく、使用温度範囲内での軸の新直交性のキャリブレーションを提供し、対象物（無人航空機、自動車、水輸送）の行動モデルに基づいてセンサ出力信号を処理するためのアルゴリズムを開発しています。マイクロプリボロフ研究所の製品には、無人航空機用の小型質量寸法のセンサー（GKV-5/6）、自動車やヘリコプター用のモジュール（GKV-10/11）、ノイズ耐性を高めた一般用のシンプルな慣性システムが含まれています。マイクロプリボロフ研究所の慣性航法システムは、輸入品と比較して高い競争力を確認した。微小電気機械システムのセンサーの機会と需要は、長期的にわたって着実に成長するであろう。



写真。使用分野：無人輸送機、無人航空機車両、衛星アンテナ、測地学

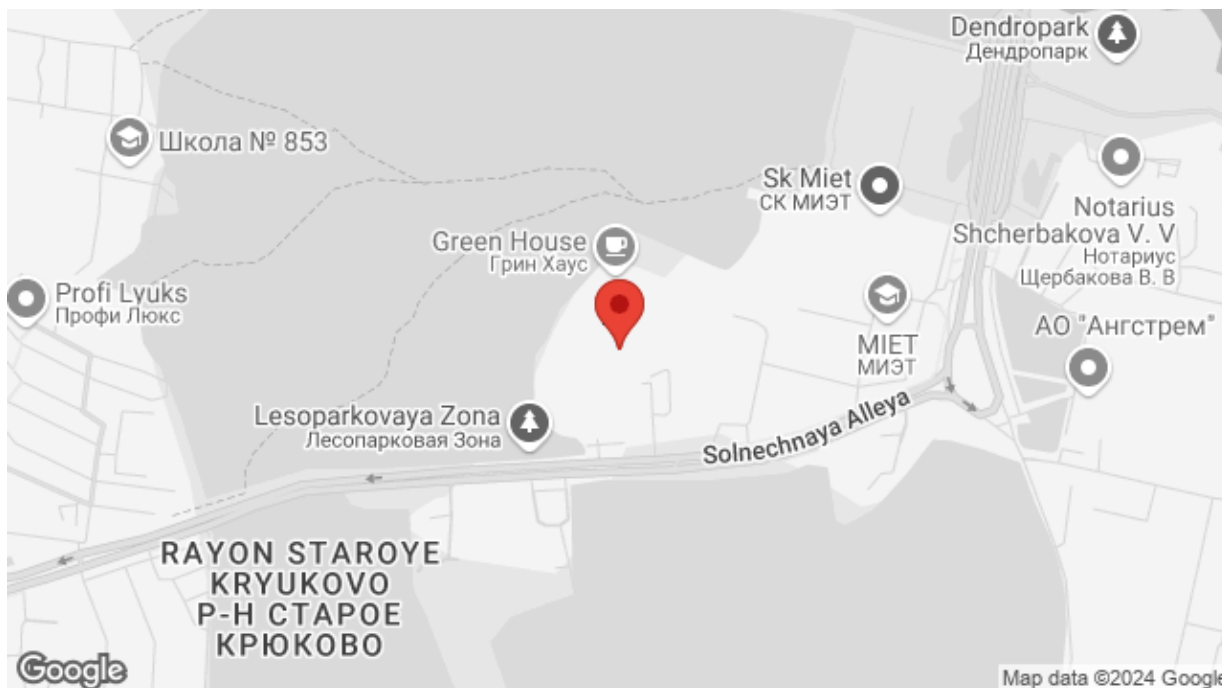
## 輸出

現在、同社の製品はベラルーシに輸出されていますが、最も有望で手頃な市場であるカザフスタンとドイツにも輸出する作業が進められています。将来的には、欧州連合諸国の市場に参入することを計画しています。スイス、オーストリアなど。当社の製品はカザフスタン共和国とドイツに輸出される予定です。国内外の市場でMikropriborov研究所の製品をより効果的に宣伝するために、AVI Solutions社（National Association of Robotics MarketParticipantsとFavorit-EKのメンバー）と販売契約を締結しました。

## 主な事実

1.慣性モジュールGKV-10は、D.I.Mendeleev Institute for Metrologyで成功したテストの後、測定器のタイプとして認識され、Rosreestrで導入されました。慣性モジュールGKV-10は、D. I. Mendeleev Institute for Metrologyでのテストが成功し、Rosreestrに導入されました。これは、測定器である最初の慣性モジュールである3.それは2017年にサポートされていました。競争Development-NTI IIの下でプロジェクトのイノベーション推進のための財団は、海洋および自動車アプリケーションのためのマイクロ電気機械と衛星ナビゲーションシステムに基づいてユニークな普遍的な慣性ナビゲーションモジュールを作成しました。そして2019年には、Commercialization-9のコンテストを通じて、このプロジェクトの開発のための財団から支援を受けました4。2019年には、無人航空機、ロボット、衛星アンテナのための小さな質量寸法を持つ新しい慣性モジュールを開発しました。

## 連絡先情報



ロシア、モスクワ、Zelenograd、6、Solnechnaya Alleya

☎ +7 495 005-17-32

✉ info@mp-lab.ru

📷 mplabofficial\_





メイド・イン・ロシア・プロジェクトは、デジタル取引とメディアのプラットフォームです。メイド・イン・ロシアの12カ国語によるビジネス情報機関や、海外での商品やサービスの販売・宣伝を行うデジタル商社などが含まれています。プラットフォームに登録された企業は、Made in Russiaプロジェクトのロゴの使用権、ロイヤリティプログラム、サービス、施設へのアクセス権を得ることができます。



ブランドページ

<https://monolith.madeinrussia.ru/ja/catalog/3340>

pr@madeinrussia.ru